

福島市小鳥の森通信

# しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう120

## ツグミ

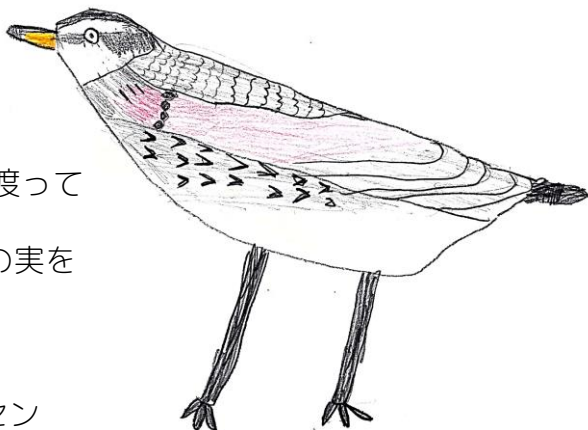
分類：スズメ目ヒタキ科  
 大きさ：24cm（ムクドリくらい）

冬鳥として毎年10月にシベリア方面から渡ってきます。

秋から冬には庭や公園、林の中で赤い木の実を食べ、春には集団になります。

小鳥の森で見られる場所と時期

・10月～3月にかんさつ広場やネイチャーセンターの周りで見ることができます。



よこやま えなさんが  
かいてくれました。

## 3月 森のココに注目

### 今年もカタクリの季節がやってきます

3月下旬は、小鳥の森でもっとも人気のある植物「カタクリ」の開花時期（花の咲く季節）になります。園内にはたくさんのカタクリが一斉に咲く場所（群生地）が3か所あります。カワセミの小径にある木陰沢の群生地は、まるでピンク色のじゅうたんが敷かれたように見えます。シジューカラの小径の杉の沢では、斜面に咲いた花を目線の高さで間近に見ることができます。阿武隈川沿いのヘルシーランド裏では、春の日を浴びきらきらと光る様子が見られます。

冬の間、森林の若返りを目指す整備作業が行われました。今までとは違った林の光の中で、カタクリの花を楽しんでみませんか？花の最盛期（3月下旬～4月初め）には、カタクリガイドツアーも実施します。ぜひ足をお運びください。



カタクリの花

## 小鳥の動きで春を感じます

夕方4時を過ぎても空が明るいことに驚くようになりました。日が長くなってきましたね。春も間近。

小鳥たちにとって、春は繁殖（子育て）のシーズンです。福島市の鳥シジュウカラがツピ、ツピ、ツピッと鳴き始めました。繁殖のためオスがメスを呼ぶ声（＝さえずり）で歌っているのです。一方、毎年ネイチャーセンターの壁に設置している巣箱の中をヤマガラがのぞきにきました。巣を作る場所としてどうかな？と下調べにきたようです。

冬鳥のアトリのオスは、頭の色が灰色から黒への変化が始まりました。来るべき恋の季節に備えてのお色直しですね。

今年の冬は未だに雪が多く寒い日が続いていますが、皆さんも外へ出て春の兆しを感じてみませんか？



ネイチャーセンター壁面の新しい巣箱

## スタッフだより

### 二度寝するカエル？！

カエルの季節はいつでしょう。ケロケロ鳴く6月？しとしと雨降る7月？確かに気温によって体温が変わるカエルは、暖かい季節に元気よく動き回ります。

でも人も震える2月に目を覚ますカエルが小鳥の森にはいます。その強者の名はニホンアカガエル。冷たい土の中から出てくると、流れのない浅い水たまりを目指して森を移動し卵を産む、驚きの体力を持つカエルです。

驚きは続きます。なんと卵を産み終わるとまた5月頃まで冬眠に戻る、二度寝するカエルなのです。

早い時期に卵を産むと良いことが！他の生き物があまりいない時期なのでオタマジャクシのエサである藻やコケが食べ放題！また天敵のヘビやヤゴなどはまだ冬眠中！ゆったり成長できそうですね。

しかし危険も。もし厳しい寒さに晒されたら…全滅…。

ハイリターンハイリスクのニホンアカガエル。今年もそろそろ起きる時間です。

スタッフ くろさわ さちこ



## 森の手入れ作業のお知らせ

### カワセミの小径、ホオジロの小径 3月末まで、閉鎖中

この冬の間、カワセミの小径とホオジロの小径周辺の森林では、森の若返りを目的とした森林整備を行っています（ふくしま森林再生事業）。60～80年生きてきたコナラやアカマツは老化にともない抵抗力が弱ってきました。2つの小径を閉鎖し、大きめの老木を切り、若い木々を育てる作業を実施中。散策や利用などでの小径通行ができません。もうしばらくの間、ご理解とご協力をお願いいたします。



作業の様子

\* 小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページで**カラー版**をご覧ください。

\* 園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2022年3月号No.431／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま